

ナカッタラウカト想像スル

●つばきノ椿ハ和字デアル

世間普通ニつばきヲ椿ト書クノハ元來和字ヲ

用ウルノデ寺島良安ノ倭漢三才圖會ニ椿ヲ倭字ダト斷ジテアルノハ確ニ卓見デアル大抵ノ人ハ椿ノ字ガ支那ニモアル(即ちちやんちん)ノデ敢テ其椿ノ本義ヲ以テ我つばきヲ律セント試ミ種々ナ臆説ヲ出シテ居ルガ私ハ其レハ牽強附會ノ説ヲ爲スモノダト愚考スル、椿ヲつばきトスルノハ丁度えのきヲ榎(支那ノ榎ハ別物)、ひゝらぎヲ柎(支那ノ柎ハ別物)、しきみヲ櫛、さかさヲ櫛、はざヲ萩(支那ノ萩ハ別物)ト書クノト同ジデアル然ニ學者ハ眞向ニナツテ『本邦ニテ古ヨリ椿ノ字ヲツバキト訓ズルハタマツバキノ古訓ヲ誤リタルナリ其タマツバキト云ハ今俗ニキャンチント呼ブ者ニシテツバキノ類ニ非ズ』ト言ツテ居ルガ氣ノ利カナイ説デアル此ク椿ソレ自身ノ古名ヲたまつばきデアルト斷ズルハ輕卒デ是レハ却テ八千歳ヲ春ト爲ス大椿ナドノ語ニヨツテ春咲クたまつばき(つばきノ美稱)ヲ逆ニ椿ト想像シタモノデアラウ又學者ハ椿ハ『本邦ニ舊ヨリ多キ者ナレドモ昔人識ラズシテ唐人ヨリ種ヲ取ヨセ黃蘗山ニ栽エシト云』(黃蘗山ハ山城ノ字治ノ萬福寺)ト記シテ居ルガちやんちんハ絶對ニ我邦ニハナク後支那カラ來タモノデ恐ラク右ノ黃蘗山ニ栽エシガ殆ト始メテデアラウト思フ決シテ昔カラ我邦ニ多イ樹デハナク從テたまつばきノ名ナドアラウ筈ガナイ、椿ガつばきノ時ハ其音(アルトスレバ)ハちんデナクしゆんデアラネバナラヌ譯ダ、序ニ曰ク世人ハ能クさざんくわヲ山茶花ト書イシ居ルガ是レハさざんくわノ呼ビ聲ガ山茶花ノ音ニ似テ居ルカラデさざんくわニコンナ漢名ガアル譯デハナイさざんくわノ漢名ハ茶梅デ山茶ト書クトつばきノ漢名トナル故ニさざんくわヲ山茶花ト書クトつばきト間違フカラコレハサウ書カナイヤウニ避ケタ方ガヨイト思フ

正誤 ●第三卷第三號口繪おらんだがらしの學名 Boripa ヲ Boripa O(52) 頁、五行中途而シテ私ノ實驗云々ヨリ同八行讀切り迄ヲ同頁十四行中程 全ク抹殺セラル、ニ至ッタノ次ニ挿ム O(66) 頁、三行 寄附ハ 寄附 ●同第六號 (129) 頁、左ヨリ三行並ニ (130) 頁、左ヨリ五行マクミランハマクミラン ●同第七號 (129) 頁、左ヨリ七行 業生シタハ 業シタ O(153) 頁、左ヨリ五行 ユエハ ユエ O(170) 頁、十行 清季ハ 清季 ●同第八號 (199) 頁、左ヨリ四行 列フヌハ 列ラヌ ●同第九號 (206) 頁、左ヨリ七行 リウキウイもハ あめりかいも ●同第十號 (236) 頁、左ヨリ五行 MAMAMOTO ヲ YAMAMOTO O(244) 頁、九行 任ハ 仕 O(246) 頁、五行 二十一日ハ 二十日 O(247) 頁、五行 一女ハ 四女 ●(注意)歐文ノ正誤ハ歐文ノ末ニ附載シテアル